

技術資料（TDS）

作成日 2025/04/10

・ 特徴

アケミ プラチナムP+はエポキシアクリレート樹脂で、低粘度タイプと高粘度タイプがあり、様々なところに使用できます。

特性

- － 様々なところで充填・接着・補修に適合
- － 透明性がある
- － 速硬化性（15-40 分）
- － 表面硬化が速い
- － ツヤ出し作業が容易
- － 黄変しにくい
- － 薄型大判セラミックへの優れた接着性
- － 最高 60～70℃までの高温まで優れた接着性を有する
負荷のない（荷重がかからない）所であれば最高 100～110℃の高温下でも優れた接着性を有する
- － 優れた耐水性、耐油性
- － ドイツ当局による食品安全基準に合格しており、硬化物は食品の接触による健康へは無害（FOODSAFE認証）

・ 適応範囲

アケミ プラチナムP+は自然石、クォーツ、セラミック、薄型大判セラミック（例：デクトン、ラピテック、ネオリス、ラミナム、磁器タイル、セラミックタイル）の接着や欠けの補修に使用されます。

性状：

プラチナムP+ 低粘度タイプ：粘りのある液状

プラチナムP+ 高粘度タイプ：糊状

・ 使用方法

1. 被着体表面の水分と汚れを除去します。接着面を荒し、完全に乾燥させてください。
2. 着色にはアケミ スペクトラム（最大15%）、着色ペースト（最大 5%）まで添加できます。
低粘度タイプと高粘度タイプを混合し適度な粘度にて使用することができます。
3. 硬化剤を主剤 100g に対し 1～3g 使用します。（チューブから 4～5cm 出したものが 1g 相等）
4. 主剤と硬化剤をしっかりと混ぜます。混合後 5～15分（20℃）で作業を終えてください。
硬化剤の添加量により硬化速度が変わります。
5. 15～40分ほどで表面が硬化し、次の作業をすることができます。
6. 温めると硬化速度を早め、温度を下げると硬化速度が遅くなります。
7. 使用道具は 洗浄し清潔にしてください。

・ 特記事項

- － 手袋を使用し手を保護してください。

- 硬化剤を 4%以上混合すると表面硬化が悪くなります。
- 硬化剤を 3%以上混合すると硬化物の黄変の原因になります。
- 硬化剤を 1%以下にし、低温（5℃以下）になると硬化がかなり遅くなります。
- 明るめの石材に使用する場合は通常より多めの着色料を添加してください。
- 硬化剤を添加するとやや黄変しますが、硬化とともに黄変は消えます。
- 主剤が硬化、あるいはジェル状になっている場合は使用できません。
- 硬化収縮があるので接着面はできるだけ薄く（最大1mm）してください。
- 保管状態が悪いと硬化物に良い特性が得られません。冷暗所で保管してください。
- 硬化物は若干黄変することがあります。
- 一度硬化した硬化物は溶解剤でも取り除くことはできません。

高温（200℃以上）にて物理的に取り除くことは可能ですが接着面等損傷の可能性あります。

- 適正使用により硬化した硬化物は健康を害することはありません。（FOODSAFE認証）

・ 技術データ

	低粘度タイプ	高粘度タイプ
色	無色透明	半透明
比重	約 1.04 g/ cm ³	約 1.10g/cm ³
可使時間（硬化剤を混合してから使用できる時間（分））		
a) 20℃（作業場温度）の場合		
1%の硬化剤	13-15 分	13-15 分
2%の硬化剤	6-8 分	6-8 分
3%の硬化剤	4-6 分	4-6 分
b) 2%の硬化剤添加の使用		
10℃（雰囲気温度）	10-18 分	10-18 分
20℃（雰囲気温度）	6-8 分	6-8 分
30℃（雰囲気温度）	3-5 分	3-5 分

引張り強度 DIN EN ISO 527：

40-45 N/mm²

曲げ強さ DIN EN ISO 178：

70-80 N/mm²

圧縮強度 DIN EN ISO 604：

100-110 N/mm²

・ 保管期間

直射日光を避け、湿気のない冷暗所で元の容器で1年。

・ 健康と安全

この製品の使用前に安全データシートをご一読ください。

・ 重要な注意事項

使用に当たっては、必ず予備テストを行い確認の上、実際の使用をしてください。